中

17　伝統工芸-幸せ運ぶ「三原だるま」

三原だるま

「三原だるま」は,「だるまとたこの町三原」のシンボルであり我が町の自慢です。

「三原だるま」の歴史は，江戸末期から始まりました。元々，上方から伝わった江戸だるまを生活の足しにと下級武士が作り始めたそうです。戦後いったんはすたれましたが，久保等さんや三原だるま保存会の努力によって 21 年前に復活しました。

三原駅新幹線口の三原だるま

「三原だるま」には，四つの特徴があります。①「願いが成るように」と鳴り物（鳴る＝成る）の鈴や小石を入れてあること，②豆絞りを巻いていること，③最初から目が描かれていること，④転んでも必ず起き上がることです。

毎年２月に開催される「神明市」（別名「だるま市」）というお祭りでは，三原駅周辺に全国から数百の露店が軒を連ねますが，沢山のだるまも，そのあちこちで売られています。

三原だるま工房

人のこぶし大のだるまを「にぎりだるま」といい，家族の人数分のだるまを買い，そのだるまの裏にそれぞれの名前を書いて神棚にお供えし，安全と繁栄を祈ります。

神明市では，三原駅の東側に位置する東町に，高さ 4.3m 重さ 180kg の日本一の大だるまが置かれ，近くで見ると大迫力です。

オクトパスだるま＆三原だるま

これらの「三原だるま」を制作，ＰＲする拠点になっているのが，三原駅前にある「三原だるま工房」です。ここでは，三原の特産物である「タコ」をモチーフとした楽しいだるま等も作られています。

特に「オクトパスだるま」は，置くとパスということから，受験生に人気があります。

【参考：HP「三原だるま工房」http://www.mhr-cci.or.jp/tmo/daruma_koubou/】

おすすめポイント

毎月,「初心者向け土曜日４日間コース」として,「三原だるま」制作体験教室が開催されています。僕も体験したことがありますが，実際作ってみるととても楽しいので，是非参加してみてください。

広島県立広島中学校　２年　蔦　佑輔